

中部徳洲会病院

循環器内科後期研修プログラム

当該診療科の特徴

人口約 50 万人を擁する中部医療圏の急性期中核病院として循環器診療全般を行っている。また、県内・鹿児島県の離島における救急医療を含めた循環器診療にも力を入れている。

プログラムの特徴

- ① 心臓 CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル検査・治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施など循環器医としての必須の技術を上級医が丁寧に指導しながら直接実践することで習得できる。
- ② 基本的に主治医としてすべて一人で診療を行う。しかし、複雑な症例では、カンファレンスなどで意見を出し合って診療方針を決めており、一人で悩むことはない。
- ③希望に応じて、不整脈治療の研修や離島などへの短期・長期応援も可能。
- ④他の内科とのしきいが低いため、内科一般・消化器・血液・免疫疾患なども上級医とともに診療することが可能。

到達目標

【1年目の行動目標】

1. 総合内科医としての診療能力を高め、様々な疾患を抱える患者に対応可能とする。
2. 上級医とともに心臓超音波の実施、心臓 CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル検査・治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施が行える。
3. 救急外来での循環器初期診療をマスターする。
4. ICUでの呼吸循環管理をマスターする。
5. 研究会・学会での症例報告を行う。
6. 初期研修医の指導を行う。

【2年目の行動目標】

1. 1年目に引き続き、総合内科および救急診療の診療レベルをさらに高める。
2. 単独で心臓カテーテル検査が行える。各治療手技のレベルもさらに高める。
3. 初期研修医・後期研修医1年目の指導を行う。

【3年目の行動目標】

1. 単独で心臓 CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施が行える。
2. 初期研修医・後期研修医1年目・2年目の指導を行う。

3. 上級医の指導により臨床データを解析し、学会に応募し、発表する。

※当院は総合内科専門医研修プログラムの連携施設のため、1年間の基幹病院での研修があります。

研修期間

新専門医制度プログラムに準ずる。

取得可能な資格など

日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定治療医・専門医

日本不整脈心電学会不整脈専門医

指導体制

指導医：4名

その他

大学医局への所属、未所属へ関係なく全国より専攻医を受け入れている。

メッセージ

沖縄県では、人口規模からハイボリュームセンターを作ることは困難です。当院では一人当たりの症例数としてはハイボリュームセンターと比較しても遜色ない症例を経験することが可能ですし、コメディカルの協力のおかげでとても働きやすい環境となっています。また、県内ではカテーテルインターベンション専門医と不整脈専門医を取得できる数少ない病院の一つです。他にも、離島における循環器診療にも力を入れており、循環器内科志望の方はもちろん、総合内科専門医プログラムでローテーション希望の方、救急医療や離島診療に興味のある方にとっても、循環器疾患の標準的な診断、治療を学ぶには最適な科だと思います。興味のある方は是非一度見学にお越しください。ご連絡お待ちしております。